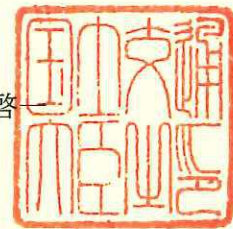


# 認定書

国住指第 156 号  
令和元年 5 月 10 日

株式会社古河テクノマテリアル  
代表取締役社長 鈴木 比呂輝 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-1055
2. 認定をした構造方法等の名称  
ガラス繊維強化ポリプロピレン管／熱膨張性シート・シーリング材充てん  
／壁準耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ガラス繊維強化ポリプロピレン管／熱膨張性シート・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項目		仕様
開口部	形状	円形(φ270mm以下)
	面積	0.057m <sup>2</sup> 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		18～27mm(配管の外径がφ114mmを超える場合) 9～28mm(配管の外径がφ114mm以下の場合)
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の割合)		85.3%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張/軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0046、FP060NP-0049、FP060NP-0075、FP060NP-0185、FP060NP-0189、FP060NP-0192、FP060NP-0233、FP060NP-0250、FP060NP-0258、FP060NP-0294、FP060NP-0345、FP060NP-0360) 厚さ42mm以上

3. 構成材料の仕様：

構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3及び寸法を表4に示す。

表2 構成材料の仕様

項目		仕様	
熱膨張性シート		材料	表面材張グラファイト系熱膨張性シート
		使用箇所	貫通部の配管に巻き付け
		寸法	幅：100mm以上 厚さ：7.83mm以上 長さ：配管外周2周巻き以上(配管の外径がφ114mmを超える場合) 配管外周1周巻き以上(配管の外径がφ114mm以下の場合)
	表面材	材料	アルミニウム箔貼ガラスクロス
		寸法	0.13mm以上
	基材	材料	グラファイト系熱膨張性シート
		組成 (質量%)	材料組成は社外秘とさせていただきます。
		密度	1.15(±0.20)g/cm <sup>3</sup> 以上
		厚さ	7.7mm以上
	充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系
充てん量		隙間を密に充てん(壁表面から42mm以上かつ、壁厚)	

表3 配管の仕様

項目	仕様				
配管	ガラス繊維強化ポリプロピレン管	外径	φ 216mm以下	厚さ	8.0mm以下

表4 配管の寸法

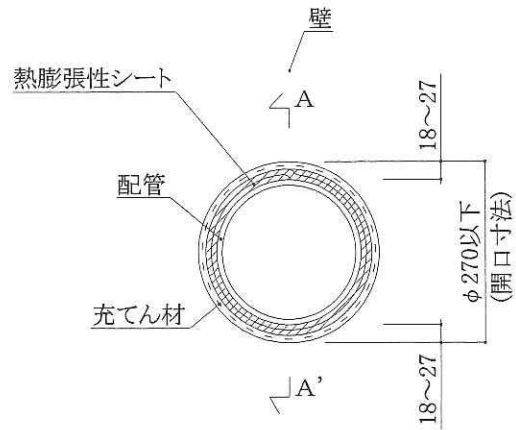
外径	呼径	厚さ	厚さの内訳	
			内層 (PP)	外層 (GRP)
φ 48mm	40	4.0mm	1.5mm	2.5mm
φ 60mm	50	5.0mm	1.5mm	3.5mm
φ 89mm	75	5.0mm	1.5mm	3.5mm
φ 114mm	100	5.0mm	1.5mm	3.5mm
φ 140mm	125	6.0mm	2.0mm	4.0mm
φ 165mm	150	7.0mm	2.3mm	4.7mm
φ 216mm	200	8.0mm	2.7mm	5.3mm

注) PPとはポリプロピレン層、GRPとはガラス繊維入りポリプロピレン層を示す。

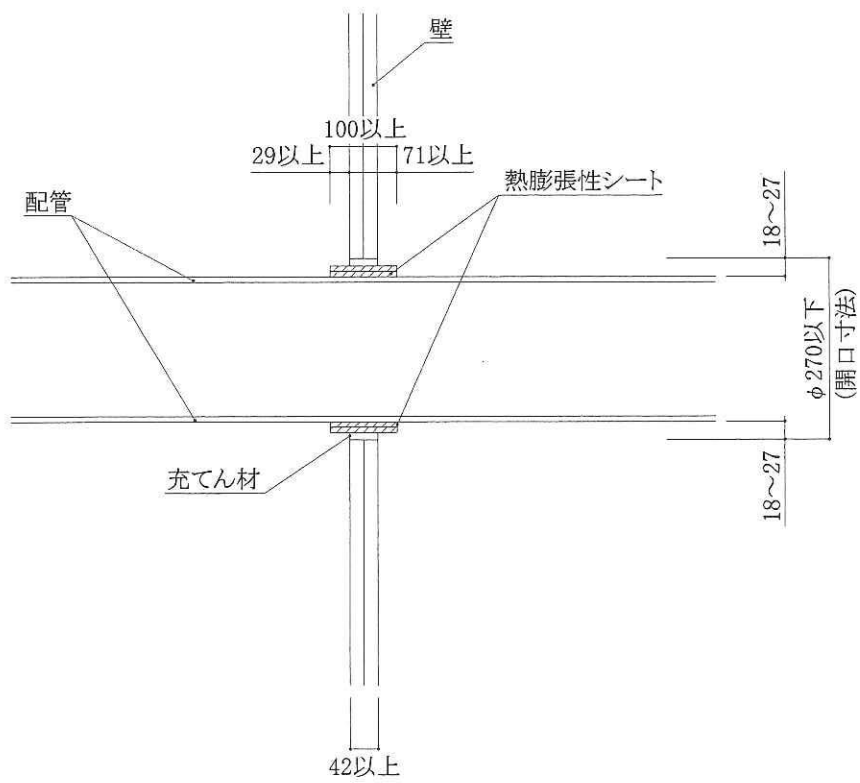
#### 4. 構造説明図：

構造説明図を図1及び図2に示す。

単位mm



立面図

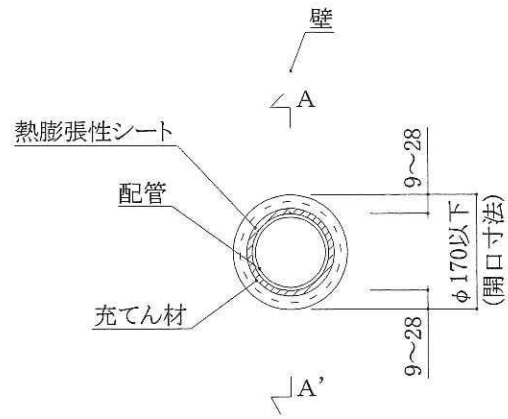


A-A'断面図

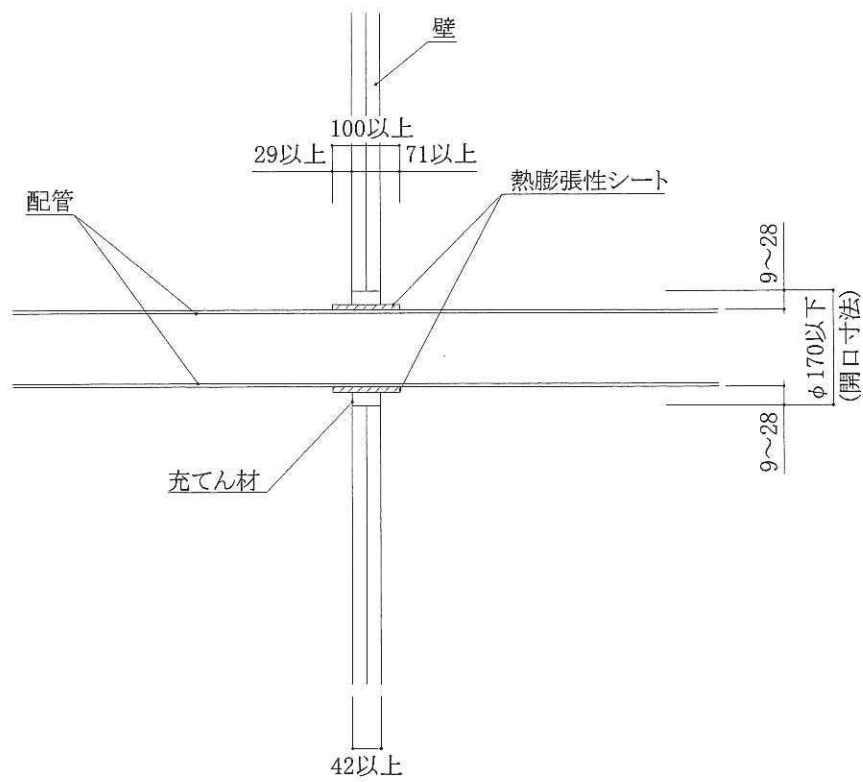
注)配管外周2周巻き以上  
(配管の外径がφ114mmを超える場合)

図1 構造説明図(施工図)

単位mm



立面図



A-A'断面図

注)配管外周1周巻き以上  
(配管の外径がφ114mm以下の場合)

図2 構造説明図(施工図)

5. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 開口部等の確認  
開口部の面積、配管の占積率、壁の構造等が仕様に適合しているか確認する。
- (2) 熱膨張性シートの巻き付け位置の確認  
熱膨張性シートの先端が壁面から片側29mm以上突き出る位置を確認する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け  
位置に従い熱膨張性シートを巻き付ける(配管の外径がφ114mmを超える場合は2周巻き、配管外径がφ114mm以下の場合は1周巻き)。熱膨張性シートは、必要に応じて2分割にすることが出来る。この際、熱膨張性シートの端と端に隙間が出来ないように密着させる。若しくは、重ね合わせる。なお、熱膨張性シートの巻き付け際に、必要に応じて仮固定の施工用テープ(ビニールテープ・紙テープ・布テープ・不燃テープなど)を用いてもよい。
- (4) 充てん材の埋め戻し  
熱膨張シートと壁との隙間に充てん材(シーリング材)を密に充てんする。